



SHUNKEN 2012-03 39-05

駿建

2012年卒業おめでとう号 Vol.39 No.5 日本大学理工学部建築学科 日本大学短期大学部建設学科



ご卒業おめでとうございます。
燃えたる情熱とクールな判断力、柔軟な肉体を保ちながら、大きく飛翔されることを期待します。自慢話がしたくなったら、いつでも遊びに来てください。

岡田 章教授・建築学科教室主任

岡田 章



どのような分野に進むにせよ「大学で建築を学んで良かった!」と思えるような人生になるといいですね。
これからも建築を愛して、建築について考え続けてください。
卒業おめでとうございます。

佐藤光彦教授

佐藤 光彦



卒業おめでとう。
一日一日を大切に、地道な努力の積み重ねによって人生を切り拓いてください。
健闘を祈ります。

安達俊夫教授

安達 俊夫



卒業おめでとうございます。
卒業生は学生としてではなく、社会人としておつき合いすることになります。後輩たちに社会の「生の声」を伝えるため、できるだけ大学に足を運んでください。

重枝 豊教授

重枝 豊



卒業おめでとうございます。
最近の若者は元気、覇気、やる気がないと言われていますが、そんなことはないことを4月からの職場で見せてくれると確信しております。
頑張ってください。

池田耕一教授

池田 耕一



卒業おめでとう。
今後の希望に満ちた人生設計にあたり、理想はあくまでも高く、しかし技術者としての地味な努力を忘れず、国際社会や地球環境との共生に貢献できる社会人として成長されることを望みます。

白井伸明教授

白井 伸明



卒業おめでとうございます。皆さんは、これまで「知識」の世界で勝負し、評価されてきたかもしれませんが、社会に出ると、今度は「知恵」の世界で勝負していかねばならないでしょう。いっそうの知識の吸収と幅広い情報の収集に努め、的確な判断力とユニークな創造力を養うよう努力してください。皆さんの健闘を祈ります。

井上勝夫教授

井上 勝夫



卒業おめでとうございます。
これから卒業して社会人になるのに希望や不安が混在している時期だと思います。“勇氣”をもって立ち向かっていってください。頑張っていれば必ず結果は付いてきます。“継続は力なり”です。ご健闘をお祈りします。

中田善久教授

中田 善久



卒業おめでとうございます。
大学で学んできた基礎知識、そして明日からの実務で培われる応用的な専門知識とによって、君たちの未来は作り上げられます。
素晴らしい日本、そして地球・宇宙を創造する専門家として羽ばたいてください。

今村雅樹教授

今村 雅樹



卒業おめでとうございます。
これからの都市づくりは、みなさんの肩にかかっています。困難も多いと思いますが、自信と希望を持って大いにご活躍ください。期待しています。

根上彰生教授

根上 彰生



卒業おめでとう!
これからは、理想の“建築と街”づくりをめざす同士の仲間です。何か、お役に立てることがあったら、声をかけてください。皆さんの社会での活躍を期待しています。

大川三雄教授

大川 三雄



卒業おめでとうございます。
これからの人生の問題には、正解というものはありません。しかしまた、悩み抜いた末に解答が見つからない問題もありません。未来はあなたの方の努力次第です。ご健闘をお祈りします。

古橋 剛教授

古橋 剛



三橋博巳教授

卒業おめでとう。
社会に出ても大きな夢と希望を持って努力され、飛躍されんことを期待します。

三橋博巳



佐藤慎也准教授

卒業おめでとうございます。
また、いつかどこかで会いましょう。

佐藤 慎也



本杉省三教授

「人生は自分自身への道だ」とドイツの詩人、
ハインリッヒ・ハイネは言っています。長いよ
うでいて短い時間、どれだけ真剣に物事に
取り組めるか、これらが勉強の本番です。先延ば
しせず着実に積み重ねていくことの大切さが実
感できるはずですよ。

本杉省三



橋本 修准教授

ご卒業おめでとうございます。
理想を高く掲げて、常に刺激を求めながら、自
分の感性を養う努力をしましょう。新たな出
会いを大切にし、情報や活動のネットワークを
広げるよう努力してください。

橋本 修



横内憲久教授

卒業おめでとう！
まず、親に感謝、友に感謝、そして少し先生に
感謝をしましょう。大学はひたすら吸収の場
でしたが、社会は放出の場となります。アイ
デアを、情報を、汗を、創造力や想像力に
乗せて出すのです。動き回る狼は、動
かない獅子に勝ります。頑張れ。

横内憲久



八藤後 猛准教授

荒波の中の船出になりましたね。提案ですが、
長い航海において、まずは自分本位でかま
わないので、あなた自身が幸せになれる
方法を選んでみてください。自分が幸
せでない人が、人を幸せにできると思
いますか。気をつけて、行ってらっ
しゃい。

八藤後 猛



横河 健教授

卒業おめでとうございます。
君たちの未来は明るい。しかし、喜びは苦
しみの先にしか本当の喜びはないの
です。喜びは限界の先にあります…。
明日が明るいとなれば君自身が限界
をつくらないからでしょう。

横河 健



山田雅一准教授

卒業おめでとうございます。
“心と技”を磨いて、いつも前向き
の姿勢で事に当たってください。

山田 雅一



金島正治教授 (研究所)

卒業おめでとうございます。
大学でたくさんの友達をもてたことは幸
いだと思います。これからの人生、共
に語り合える仲間を意識しながら活
躍ください。

金島 正治



渡辺富雄准教授

卒業おめでとうございます。
今度はお互いに社会人としてまたど
こかで会いましょう。
皆さんの活躍を期待しています。

渡辺 富雄



宇於崎勝也准教授

卒業おめでとうございます。
社会の中で出会う人・事・モノ、いろ
いろなことに興味を持って、明るく、
楽しく、元気に、がんばってください。

宇於崎 勝也



川島和彦専任講師

卒業おめでとうございます。
出会いは奇跡であり、運命であると思
います。出会いから始まる人間関係を
大切に、信頼される人間に成長して
ください。そのためには、もちろん
努力も必要です。皆さんのご活躍を
期待しています。

川島 和彦



宇杉和夫准教授

生活空間と建築に対する広い視野と地
に合った視点をもって、建築界で、そ
して社会で活躍されることを期待し
ます。

宇杉和夫



田嶋和樹助教

卒業おめでとうございます。
刻々と流れていく時間のなかで、自
分の人生に自らの意思を反映させてほ
しいと思います。そのためには、自
分に自信を持ちましょう。でも、
自分を信じるためには、その裏づけ
となる努力が必要であることを忘れ
ないように。

田嶋 和樹



富田隆太助教

人との出会いは、何事にも代えられない貴重な宝物だと思います。また、周りに流されず、自分の行動を冷静に判断することも重要です。是非、挨拶を心がけて、頑張ってください。卒業おめでとうございます。

富田隆太



王 岩助手

ご卒業おめでとうございます。これから、夢をもって、自信をもって前に進んで、次のステージでのご活躍、ご成功をお祈りします。

王岩



秦 一平助教

ご卒業おめでとうございます。これからいろいろな“壁”を越えなくてはいけない時が、必ず来ると思います。その“壁”を自分自身で乗り越えられるような立派な社会人になることを願っております。皆さんのこれからの活躍を期待しています。

秦 一平



小島陽子助手

なんにだってなれる
どこへだって行ける

ご卒業おめでとうございます

小島陽子



蜂巢浩生専任講師

卒業おめでとうございます。これからいろいろなチャンスに巡り合うことでしょう。大切なことは、それを有効に使うこと。恐れてばかりいないで、前向きに取り組んでください。

蜂巢浩生



西脇 梓助手

卒業おめでとうございます。理屈を超えて好きなこと、夢中になれることを大切にしてください。皆さまのご活躍を期待しています。

西脇梓



宮里直也助教

おめでとうございます。人との出会い、コミュニケーションを大切にしてください。笑顔で楽しんでください。これからの活躍を期待しています。また、いつでも研究室まで足を運んでください。

宮里直也



廣石秀造助手

卒業おめでとうございます。これからもいろいろなことに興味をもって、毎日を楽しんでください。

廣石秀造



山崎誠子助教

卒業おめでとうございます。これから出会うすべてのことに興味と感謝をもって進んでください。出会いは偶然ではなくて必然です。日本人としてだけでなく地球人として大きく生きよう！

山崎誠子



栗原のり子副手 (教室事務室)

ご卒業おめでとうございます。皆さんの今後の活躍に期待しています。

栗原のり子



山中新太郎助教

卒業おめでとうございます。これからのみなさんの活躍を楽しみにしています。人との関係を大切に、自分の長を活かすような生き方をしてください。

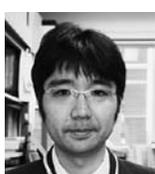
山中新太郎



矢萩有美子副手 (教室事務室)

卒業おめでとうございます。社会に出ても常に自分を見失わず、夢と希望を持って頑張ってください。

矢萩有美子



石鍋雄一郎助手

ご卒業おめでとうございます。社会に出てしばらくは地味な仕事に明け暮れることになるかと思いますが、学ぶことをやめずに努力すれば大きな飛躍の機会がきっと訪れます。「果報は“練って”待て」です。寝て待ってはいけません。

石鍋雄一郎



卒業おめでとうございます。
いつでも夢を！
いつまでも情熱を！
御活躍を期待します。

小石川正男教授・短大建設学科長

小石川正男



卒業おめでとうございます。
どんな時も自分の可能性を信じ、夢を持ちつづけてください。
Imagine, you can do it.

羽入敏樹准教授

羽入 敏樹



My Way !

黒木二三夫教授

黒木二三夫



卒業おめでとうございます。
HISTORIA MAGISTRA VITAE
——歴史は人生の師なり
日大で刻んだ時を忘れることなく、学んだことを糧にしながら、それぞれに人生の新しい頁を加えていってください。Bon Voyage!

矢代眞己准教授

矢代眞己



Tomorrow「明日があるさ!」ではなく、明日のために日々の努力を忘れずに、そして壁にぶつかったら思い出してほしい言葉——「艱難汝を玉となす」。
卒業おめでとう。

下村幸男教授

下村幸男



卒業おめでとう。
人生、うまくいかないこともあります。
そんな時は、未来の自分をイメージしてみてください。
お互いに頑張りましょう!!

酒匂教明専任講師

酒匂 教明



鳥瞰パースの視点もて
鳥瞰とは“birds eye”のこと 鳥のように高い視点を持ち “いつでも通過点”と考え立ち止まらない好奇心で この逆境に挑みたいもの「時・場所・人」を問わず必要とされる 物事の真実、本質を見抜く力“wisdom”をつかんでください。

吉野泰子教授

吉野 泰子



卒業おめでとうございます！
皆さんの目の前には、無限の可能性が広がっています。
前を向いて進むべき道を突き進んでください。
ご活躍期待しております。

保坂裕梨助手

保坂 裕梨



卒業おめでとう。
「日大卒」に自信と誇りをもって頑張ってください。
母校への応援もよろしくお願いします。

佐藤秀人准教授

佐藤秀人



Stay Hungry.
Stay Foolish.

星 和磨助手

星 和磨



良き問いは、良き答えよりもすぐれている、という言葉があります。時代の転換期、問題を提起する力がますます必要となるでしょう。しなやかな感性を、大事に育てていってください。

田所辰之助准教授

田所 辰之助



ご卒業おめでとうございます。
時間を共有した仲間との思い出。夢を実現するための意思。最後まであきらめない努力。やさしい心と強い信念を持ち続けてください。皆様のご活躍を心から祈念しています。

高田康史助手

高田 康史

平成23年度 各賞受賞者一覧

優等賞*1 (学部・短期大学部)

渡部 俊宗
山根 康孝
尾崎 俊介
山崎 周拓

登坂遼太郎
清水 信真
能勢 摩耶
安松 哲生

石田 安澄
嶋田 健志 (短期大学部)
山田 航平 (短期大学部)

齋藤賞*2 (大学院)

〈修士論文〉 井田 啓介 鉛直振動に対する床の振動性能評価に関する研究 指導：井上勝夫教授
廣谷 直也 地盤特性を考慮した D.M. を用いた建造物の制震性能に関する基礎的研究 指導：古橋 剛教授、秦 一平助教

吉田鉄郎賞*3 (大学院)

〈修士論文〉 川鍋 充範 路面電車利用者の中心商店街における回遊行動に関する研究
広島市における路面電車利用者の行動特性と中心商店街の空間構成に着目して 指導：根上彰生教授、川島和彦専任講師
〈修士設計〉 永嶋 竜一 教育校群「新千歳小学校」 2つの前期校と1つの後期校から構成される新しい小学校の計画 指導：佐藤光彦教授、山中新太郎助教

駿建賞*4 (大学院)

〈修士論文〉 濱津 徹平 公営住宅の集会所および空き住戸の活用が地域に及ぼす効果に関する研究
大阪府および大阪市の事例に着目して 指導：根上彰生教授、川島和彦専任講師
〈修士設計〉 森本 栄貴 地方都市中心市街地における寺院境内の再構築
浄土真宗大谷派金沢別院境内をモデルとした学習・療養空間の設計 指導：佐藤光彦教授
今野 和仁 丸の内3.5次地区更新計画
新東京ビル街区建て替え計画を活用した自立型業務都市の提案 指導：横河 健教授
土川菜々子 都市計画道路整備事業に伴う下北沢駅前構想計画
既存の都市空間を継承した複合建築の設計 指導：佐藤光彦教授

駿構賞*5 (大学院)

〈修士論文〉 坂本 英之 せき板の転用によるコンクリート表面の品質変化とこれを考慮した目的指向型枠工事計画の提案 指導：中田善久教授
松田 歩弓 連結したホルン型張力膜構造の風応答性状に関する研究 指導：岡田 章教授
朝枝 亮太 エネルギーの釣合に基づく液状化地盤の損傷評価に関する研究
東京湾岸における液状化被害の調査及び沈下量の評価 指導：安達俊夫教授

桜建賞*6 (学部・短期大学部)

〈卒業研究〉 岩崎 和真・田中 真央・千葉 峻樹 パーソナルスペースと空間内の明るさ分布の関係性
明るさ分布のコントラストとシルエット現象の影響 指導：橋本 修准教授
石田 安澄 超高層免震建物の簡易設計法に関する基礎的研究
免震部材の引抜面圧を基準とした逆設計法 指導：秦 一平助教
大辻 浩輔 コンクリート強度管理用供試体の違いが応力-ひずみ曲線に及ぼす影響 指導：中田善久教授
安樂 駿作 建築家・葛西萬司の建築観と設計活動にみる特徴 指導：大川三雄教授
河野 琢磨 港湾機能再編における「みなとまちづくり」に関する研究
静岡県清水港日の出地区における地域資源の抽出 指導：横内憲久教授
〈卒業設計〉 丹下 幸太 transfiguration 指導：佐藤光彦教授
〈短期大学部 卒業制作〉 土屋慧利子 おもしえ時間 山居倉庫と歩む地域の絆画 指導：小石川正男(短大)教授
羽鳥 愛美・宮田あゆみ・矢代麻佑子 Interior of Water 指導：羽入敏樹(短大)准教授

奨励賞*7 (大学院・学部)

〈修士論文〉 阪本 一生 大断面集成材を用いた木造建築物の重量床衝撃音対策方法の検討 指導：井上勝夫教授
西尾 淳 実被害状況に基づく損傷スペクトルを用いた既存 RC 建造物の耐震性能評価法 指導：白井伸明教授
野村雄一郎 サッカースタジアムに関する基礎的研究
国内のクラス S の 12 のサッカースタジアムを事例として 指導：渡辺富雄准教授
〈卒業設計〉 野田 香織 HIGATA concealer 谷津干潟における新しい観察スペースの提案 指導：今村雅樹教授

駿優賞*8 (学部)

〈卒業研究〉市川 恵理 動物園におけるランドスケープイマージョンの現状と一考察
よこはま動物園ズーラシアにおけるケーススタディ

指導：山崎誠子助教

駿建コンペティション業績賞*9 (大学院)

中村 隆志

横河研究室

桜工賞*10 (大学院・学部・短期大学部)

〈大学院・学部〉土川菜々子・三平 奏子・茂木 香織・西島 慧子

「2010年地球にやさしい住生活コンペティション」協賛企業賞受賞

佐藤光彦研究室、山中研究室、今村研究室、佐藤慎也研究室

西尾 淳 第33回コンクリート工学講演会年次論文奨励賞受賞

白井研究室

坂本 英之・廣谷 直也・秋山 良・芦川 雄都・大辻 浩輔・宮田 敦典・手島 基

東北地方太平洋沖地震に係る陸前高田市における災害調査およびボランティア活動

中田研究室、古橋・秦研究室

池上 晃司・鈴木康二郎・高橋 雄也・田中麻未也・土川菜々子・山中 友希・森本 栄貴

「八幡山アートプロジェクト」最優秀賞受賞

佐藤光彦研究室

黒瀬 優・田中美菜子・小林 聡

卒業アルバム委員としてアルバム製作において中心的な役割を果たした

岡田研究室

山本 匡希・斎藤 大亮・町田 昂弘

東日本震災復興支援イベント環境技術研究機構主催「大樹町メムサミット・学生のための住宅デザインコンペティション」入賞

今村研究室

山本 匡希・伊藤 舞

NPO 日中交流推進機構主催東日本震災復興会津サマーボランティア活動『元氣福島 Project』にて他大学（早大、東大、立教大、千葉大など）の学生たちと協力したプロジェクトで委員長として行動した

今村研究室

〈短期大学部〉清水 悠生 クラスの精神的リーダーとして活躍した

短期大学部

不動産科学専攻研究奨励賞*11 (大学院不動産科学専攻)

瀬畑 尚紘 歴史的観光都市「鎌倉」における「徒歩観光」構築に関する研究 「通り」の空間特性に着目して

指導：横内憲久教授、岡田智秀准教授、押田佳子助教

谷口 博城 減築を用いた商店街活性化のための整備手法に関する研究

指導：横内憲久教授、岡田智秀准教授

日本環境管理学会・木村賞*12 (大学院不動産科学専攻)

板里 卓哉 緑地景観保全・創出方策としての景観グリーンチェーン構築に関する研究

指導：横内憲久教授、岡田智秀准教授、押田佳子助教

小嶋賞*13 (大学院不動産科学専攻)

史 斌 中国におけるリバース・モーゲージ制度導入に関する研究 高齢化社会の到来に備えて 指導：根上彰生教授

学部長賞 〈学術・文化部門〉

今野 和仁・高橋 雄也・永嶋 竜一

「地球にやさしい住生活コンペティション2010」最優秀賞受賞

横河研究室、佐藤光彦研究室、山中研究室

坂本 英之 2010年日本建築学会優秀卒業論文賞受賞

中田研究室

*1 学部4年間および短期大学部2年間の学業成績が優秀であった学生に対し、日本大学より授与。

*2 大学院博士前期課程の環境系および構造系分野の優れた研究論文に対し、齋藤賞基金に基づき、校門建築会より授与。本学の中興の祖と呼ぶべき齋藤謙次先生の業績を記念して設けられた。齋藤賞基金は、齋藤謙次先生の寄金を元に設立、佐藤稔雄、榎並昭各先生の寄金を追加。

*3 大学院博士前期課程の設計・計画系分野の優れた研究論文および設計作品に対し、駿建賞基金に基づき、建築学科教室より授与。戦後復興期において本学の設計教育の礎を築かれた建築家であり、かつ日本の建築文化に関する優れた論考を残された吉田鉄郎先生の業績を記念して命名された。駿建賞基金は、小林文次、宮川英二、近江栄、小谷喬之助、木村翔、若色峰郎各先生の寄金による。

*4 大学院博士前期課程の環境系および設計・計画系の優れた研究論文および設計作品に対し、駿建賞基金に基づき、建築学科教室より授与。駿建賞基金については*3参照。

*5 大学院博士前期課程の構造系分野の優れた研究論文に対し、駿構賞基金に基づき、建築学科教室より授与。駿構賞基金は、本岡順二郎、榎並昭各先生からの寄金を元に設立。構造系教授の寄金を追加。

*6 学部の優れた卒業研究論文および卒業設計作品に対し、校門建築会より授与。

*7 大学院博士前期課程の優れた研究論文および学部の優れた卒業設計作品に対し、理工

学部校友会からの寄金に基づき、建築学科教室より授与。

*8 学部の優れた卒業論文および卒業設計作品に対し、駿建賞基金に基づき、建築学科教室より授与。

*9 設計競技で優秀な成績を残した大学院博士前期課程の学生に対し、駿建賞基金に基づき、建築学科教室より授与。近江栄先生の発案により設立。駿建賞基金については、*3参照。

*10 学業以外で社会的に活躍した学生に対し、理工学部校友会より授与。

*11 大学院不動産科学専攻専任教員の基金に、平成8年度で定年（平成10年3月1日死去）となられた佐藤進先生（元・専任教授）から寄せられた基金。平成11年度で定年となった浅香勝輔先生（元・専任教授）から寄せられた基金を加え、不動産科学専攻の優秀修士論文に贈られる。

*12 日本環境管理学会名誉会長木村宏先生（元・専任教授）から不動産科学専攻にその運営を委託された基金により、大学院不動産科学専攻の優秀修士論文に贈られる（平成7年度新設、旧・日本環境管理学会会長賞）。

*13 不動産科学専攻を創設し、理工学部長、日本大学総長・理事長を務められ、平成20年度で定年となった小嶋勝衛先生（元・専任教授）から寄せられた基金により、大学院不動産科学専攻の優秀修士論文に贈られる（平成21年度設置）。

平成23年度 博士論文 修士論文・設計 タイトル一覧

大学院博士後期課程

主査：岡田 章教授，副査：半貫敏夫名誉教授，中田善久教授，野村卓史教授（土木工学科） ————— 建築学専攻
永井 佑季 ホルン型張力膜構造の風応答性状に着目した設計用風荷重に関する研究

大学院博士前期課程

井上勝夫教授 ————— 建築学専攻

井田 啓介 鉛直振動に対する床の振動性能評価に関する研究
金 舟 中国北京市における集合住宅の音環境性能に関する研究
阪本 一生 大断面集成材を用いた木造建築物の重量床衝撃音対策方法の検討
宮松 優行 住宅建築を中心とした騒音・振動に関連する訴訟の原因分析と解決策の提案

井上勝夫教授・橋本 修准教授 ————— 建築学専攻

岡田 芳明 隣接する対話空間におけるスピーチプライバシー保護のための相互サウンドマスキング法

井上勝夫教授・羽入敏樹(短大)准教授 ————— 建築学専攻

桐山 直己 減衰を除去したインパルス応答による室内音場の拡散性評価

安達俊夫教授 ————— 建築学専攻

朝枝 亮太 エネルギーの釣合に基づく液状化地盤の損傷評価に関する研究
東京湾岸における液状化被害の調査及び沈下量の評価

岡田 章教授 ————— 建築学専攻

赤星 博仁 ケーブルクランプ金物部の滑動を考慮したテンセグリック・タワーの地震時応答性状に関する基礎的研究
鍋木 雄太 アーチ状ビーム式空気膜構造のインフレート及びデフレート時の挙動に関する基礎的研究
工藤 智之 ハイブリッド平板構造の応力制御に関する基礎的研究 膜の変形を考慮した制御目標の決定手法の適用性について
久保山 武 応力制御部材の集合で形成された張力曲面形状構造の耐力と変形性能について
小宮 圭太 スtring補剛アーチの提案及び施工時の挙動に関する基礎的研究
曲げ材を有するString・トラスアーチについての検討
寺田 直人 木質ブロック積層壁の水平力に対する構造性能の基礎的研究
野本 圭祐 ハイブリッド・ガラス・ビームの構造部材への適用性に関する研究
ガラスパネルを埋め込んだテンショントラスの提案と評価
松田 歩弓 連結したホルン型張力膜構造の風応答性状に関する研究

白井伸明教授 ————— 建築学専攻

赤羽 正寛 エネルギーの釣合に基づく鋼構造筋違付骨組の地震応答予測
伊東 大地 FEM解析に基づく各種破壊モードを考慮したブレース補強RC骨組の復元力特性のモデル化
小野 泰弘 せん断荷重を受ける有孔薄肉H形断面梁の耐力評価とスリーブ管補強法の適用性
河井慎太郎 改良ファイバーモデルによる靱性部材と脆性部材が混在したRC造骨組の耐震性能評価
西尾 淳 実被害状況に基づく損傷スペクトルを用いた既存RC造建築物の耐震性能評価法
橋本 拓 水平2方向外乱を考慮した偏心RC構造物のねじれ挙動の評価

中田善久教授 ————— 建築学専攻

坂本 英之 せき板の転用によるコンクリート表面の品質変化とこれを考慮した目的指向型型枠工事計画の提案

古橋 剛教授 ————— 建築学専攻

郭 鈞桓 次世代構造物設計法に関する研究 特徴的な地震動に対する超高層構造物の制震設計

古橋 剛教授・秦 一平助教 建築学専攻

廣谷 直也 地盤特性を考慮した D.M. を用いた建造物の制震性能に関する基礎的研究

今村雅樹教授 建築学専攻

〈修士設計〉

赤津 成紀 京都公会館再生計画 市民利用を中心とした文化複合施設と広場の設計

加藤 昂士 都営青山北町アパート建替計画 都営団地の更新に伴う高齢者を中心とした住まいと生活支援施設の提案

根本 亮佑 横浜市根岸台米軍基地跡地利用計画

根岸競馬場一等地スタンド改修及び療養機能を内包した市民利用としての健康スポーツセンターの設計

茂木 香織 北区十条地域コミュニティセンター計画

地域密着型公共サービス拠点と密集市街地整備促進に向けた集合住宅の設計

横河 健教授 建築学専攻

黒田 紗矢 都市的視点からみた明治神宮「外苑」の計画的特徴に関する研究

〈修士設計〉

今野 和仁 丸の内 3.5 次地区更新計画 新東京ビル街区建て替え計画を活用した自立型業務都市の提案

神保 寿弥 小田原市お堀端通り商店街再編計画 出桁造りを用いたお堀端通り商店街沿道の修景及び交流学習施設の計画

瀬戸 基聡 都心部における高度利用化を応用した建築的広場の創出

神田錦町三丁目再開発をモデルとした広大オープンスペース及びタワーの一体的設計

中村 隆志 瀬戸内戦争歴史博物館構想 戦争遺跡群の活用による分散型平和拠点施設の設計

佐藤光彦教授 建築学専攻

〈修士設計〉

森本 栄貴 地方都市中心市街地における寺院境内の再構築

浄土真宗大谷派金沢別院境内をモデルとした学習・療養空間の設計

池上 晃司 銀座六丁目再開発計画 銀座における大型商業施設の在り方の提案

鈴木康二郎 地域教育施設の設計 船橋小学校建替え計画をケーススタディーとした社会教育施設と小学校の複合化

高橋 雄也 葛飾区立中青戸小学校の設計 小学校における総合学習空間の提案

田中麻未也 国立西洋美術館更新計画 現代における装飾を用いた建築の更新手法

土川菜々子 都市計画道路整備事業に伴う下北沢駅前構想計画 既存の都市空間を継承した複合建築の設計

山中 友希 産官学連携による八王子地域活性化計画 コミュニティの育成を目指した地域交流拠点施設の設計

佐藤光彦教授・山中新太郎助教 建築学専攻

〈修士設計〉

永嶋 竜一 教育校群「新千歳小学校」 2つの前期校と1つの後期校から構成される新しい小学校の計画

三平 奏子 船橋市本町4丁目をケーススタディとした平常時・災害時・復興時の地域デザイン

地域密着型複合施設の提案を中心として

本杉省三教授 建築学専攻

藤田 怜 待ち合い空間活用型劇場の研究

鈴木 大志 単身者向け事業体介在型シェア居住の実態に関する研究 共有空間での居住者間交流を中心として

益田 絢美 都市におけるパブリックアートの果たす役割に関する研究 東京都立川市を事例として

森田 有貴 景観形成のための建築デザイン協議・審議に関する研究

景観条例を持つ地方自治体における協議・審議内容及びその実効性に着目して

山本 崇嗣 住宅団地における空き住戸活用手法の研究 学生入居事業の事例を通して

〈修士設計〉

鎌谷 良 群棲型都市住居の計画 台東区清川における都営住宅建替え

八藤後 猛准教授 建築学専攻

土屋 貴子 公共施設におけるトイレ利用の実態と施設計画

長谷川友樹 街路づくりにおける見通しが及ぼす影響に関する研究 道路周辺環境が及ぼす心理的影響の評価

渡辺富雄准教授 建築学専攻

佐藤 高 図書館の来館者の利用特性と行為に関する研究 武蔵野プレイスをケーススタディとして

野村雄一郎 サッカースタジアムに関する基礎的研究 国内のクラス S の 12 のサッカースタジアムを事例として

本杉省三教授・宇杉和夫准教授 建築学専攻

丸史 明 西安市 1950 年代集合住宅の居住環境の継承について 中国居住地の持続的形式と発展に関する研究

本杉省三教授・佐藤慎也准教授 建築学専攻

西島 慧子 地域における舞台芸術環境の構築手法に関する研究 演劇制作・支援団体の活動を通じて

大川三雄教授 建築学専攻

清水 明 PAU 理論を中心とする建築家大高正人の都市・建築論に関する一考察

根上彰生教授・川島和彦専任講師 建築学専攻

川鍋 充範 路面電車利用者の中心商店街における回遊行動に関する研究
広島市における路面電車利用者の行動特性と中心商店街の空間構成に着目して

瀧津 徹平 公営住宅の集会所および空き住戸の活用が地域に及ぼす効果に関する研究 大阪府および大阪市の事例に着目して

岸井隆幸教授 不動産科学専攻

中林 俊輔 東京 23 区における屋上緑化のあり方に関する研究

根上彰生教授 不動産科学専攻

賀上 寛之 旧耐震マンションの耐震診断および改修の促進に関する研究

史 斌 中国におけるリバース・モーゲージ制度導入に関する研究 高齢化社会の到来に備えて

東原 一樹 都市における冒険遊び場の普及方策に関する研究 東京都世田谷区・国分寺市・武蔵野市に着目して

三橋博巳教授 不動産科学専攻

兒玉秀一郎 被災者生活再建支援制度に関する研究

横内憲久教授・岡田智秀准教授 不動産科学専攻

福田 朗大 海の文化性を活用した大田区臨海部のまちづくりに関する研究

遠藤 克則 景観教育における支援体制の構築に関する研究

加藤 悠大 都市における水域の不動産的価値に関する研究 新型案件における水域の土地利用について

川島 正嵩 農村景観の持続に向けた風景観の継承に関する研究 岐阜県岩村町富田地区を対象として

谷口 博城 減築を用いた商店街活性化のための整備手法に関する研究

中島 誠仁 都心型漁業を核としたまちづくりに関する研究 首都圏 3000 万人漁師化計画の提案

横内憲久教授・岡田智秀准教授・押田佳子助教 不動産科学専攻

板里 卓哉 緑地景観保全・創出方策としての景観グリーンチェーン構築に関する研究

瀬畑 尚紘 歴史的観光都市「鎌倉」における「徒歩観光」構築に関する研究 「通り」の空間特性に着目して

宇於崎勝也准教授 不動産科学専攻

柏崎 修 建築協定の持続的な運用方法に関する研究 越谷市の建築協定地区の運用実態に着目して

水谷 亮 地域づくりに寄与する支援ツールの開発に関する研究 東京都中央区日本橋地域を対象として

森田 暁 社会基盤の近代化が繁華地区に与えた影響に関する研究
両大戦間の東京市神田区須田町・小川町の変容に着目して

平成23年度 卒業研究・設計 タイトル一覧

学部

池田耕一教授

- 石川 正人 洪水災害被災後の居住環境問題に関する調査研究
- 小野 和弘 特定建築物における室内環境と省エネルギーに関する研究
複数事務所ビルにおける温湿度および二酸化炭素濃度の実態把握
- 河野 友宣・渡邊 裕太
オフィス、会議室、ホテルからなる超高層複合施設のエネルギー消費量に関する研究
- 中島 章 高齢者福祉施設における空気環境の実測調査
- 萩原 健 室内空間における軽度の暑熱条件下でのクールビズ着用効果の検討
暑熱ストレス・ストレインの労働生理学的評価と予防対策の研究 その1
- 小林 隆秀 暑熱負担軽減方策に関する実験的研究の検討
暑熱ストレス・ストレインの労働生理学的評価と予防対策の研究 その2
- 濱 千夏 緑化壁の日射遮へい性能に関する研究
- 小川 貴大 建築物利用者の室内環境と健康に関するアンケート調査
- 黒川 愛季 応急仮設住宅におけるカビ汚染実態の調査
- 後藤 郁 気化式加湿による菌、臭気対策に関する研究 気化式加湿の殺菌方法に関する研究
- 金山 慶彦 放射性物質による環境汚染とその対策技術に関する研究



井上勝夫教授・富田隆太助教

- 伊藤 豪希・土田 龍弥
建築環境工学分野における紛争の判例分析と司法判断に関する考察
- 太田 竜嗣・相原裕太郎
保育園のクワイエットルームに関する実態調査
- 小川 雄太・田中 元規
乾式二重床における重量床衝撃音対策に関する研究
- 小島 成博・渡邊 直樹
中国における集合住宅の音環境性能意識調査及び性能実態調査
- 近藤 史生・富田奈央樹
都市の街並み景観に関する実験的研究
- 田畑 彰悟・真鍋 遼平
居住空間における人の行動特性と主観評価
- 玉置 祐人・淵崎 礼奈
衝撃振動を対象とした床版の測定および評価方法に関する検討
- 羽根田知美・福山 拓俊・依田 拓也
大断面集成材を用いた木造建築物の床衝撃音発生系の検討
- 福島 弘貴・本田 淳志・山口 大希
河川における流体音に関する実験的検討



橋本 修准教授

- 岩崎 和真・田中 真央・千葉 峻樹
パーソナルスペースと空間内の明るさ分布の関係性
明るさ分布のコントラストとシルエット現象の影響
- 茨木 大輔・藤宮 達朗
接した対話組間における相互サウンドマスキングの検討
方向性を持たせたサウンドマスキングによる対話相手とのプライバシー性の確保
- 櫻井 和也・吉川 萌
先行音効果を用いた音声誘導支援における複数スピーカの拡声条件に関する基礎的研究



菅原 隆晃・高師 啓佑・徳川 愛海

VDT 視作業時の光視環境の要因が心理的評価に与える影響

高橋 和幸・松本 浩平

帰業性の要因を伴う経路選択時における向光性の効果に関する研究

蜂巣浩生専任講師

栗原 広成・齋藤 量平・佐久間太基・堀合 駿希・大屋 聡寿・白倉 太郎

「実験動物施設の性能評価法」確立に向けた構成要素抽出の試み

田中 宏樹・逸見 秀幸

他動的運動訓練が高位頸髄損傷者の身体状況に及ぼす影響 体調管理日誌に記録された各項目との関連について

田中 淳也・井本 千樹

継続的運動トレーニングが脊髄損傷者の温熱生理反応に及ぼす影響について
3年間の測定結果に見る温熱生理反応の変化



安達俊夫教授・山田雅一准教授

有田 真弥・梶山 繁樹

安定処理土の弾性波速度システムの開発

石倉 実果

粘性土改良土の一軸圧縮強度の評価方法

工藤 諒太・矢部 智久

2011年東北地方太平洋沖地震による液状化被害調査 現行の液状化判定法の適用性

篠崎 良太

FEM解析による山留め挙動の評価に関する研究 ひずみ依存性を考慮した変形係数の設定方法

並木いつか

小型振動台実験における相似則の適用性の検討

沼尻 倫明

東日本大震災における東北地方の生活密着型施設の事業継続性に関する調査研究

藤森 圭祐

エネルギーの釣合に基づく液状化の沈下に関する研究
2011年東北地方太平洋沖地震の液状化調査及び予測法の適用性の検討

舟木友里花

地盤改良を適用したパイルド・ラフト基礎に関する研究 FEM解析による沈下量の低減に関する検討

森垣 大佳

2011年東北地方太平洋沖地震による液状化被害調査
首都圏における液状化被害状況と地震動の継続時間が液状化特性に与える影響

安河内翔平

エネルギーの釣合に基づく液状化の沈下に関する研究 規準化累積塑性ひずみエネルギーと体積ひずみの関係

吉田 理恵

地盤・基礎構造物の被害が公共施設の復旧に与える影響に関する研究 2004年新潟県中越地震による長岡市の事例

渡邊 俊治

粘性土改良土の強度・変形特性に関する研究 せん断強度と残留強度の評価

山下 哲平

2011年東北地方太平洋沖地震による液状化被害に関する研究 噴砂の粒度特性と液状化被害状況



岡田 章教授・宮里直也助教

足立 識文 いす型配座構造の屋根架構への適用性に関する基礎的研究

有路 亮平 立方体積層型ケーブルタワーの力学性状に関する基礎的研究

岩見 京助 放射型ストリング式骨組架構 (SKELSION) の力学的特性に関する実験的研究

上松 幸平 六角形 Tensegric Truss の平板への適用に関する基礎的研究

大澤 壮 トラス材で形成された一葉双曲面形状柱の水平荷重時の耐力と変形性能について

小俣 智司 多ピン PS アーチの仮設建築への適用に関する研究 シリンダー型多ピン PS アーチの提案

総谷 友昭 連結した HP 曲面型張力膜構造の風荷重時の挙動に関する基礎的研究

北島幸之助 木ダボを用いて締結した木質ブロック積層壁の力学的性状の把握

黒瀬 優 膜材を組み込んだ六角形 Tensegric Truss の仮設建築への適用に関する基礎的研究

小島 上徳 Tensegric Truss (Type I) を用いた負圧空気膜構造の構造特性に関する研究

佐藤 公紀 Reciprocal Frame を用いた切頂 20 面体ドームに関する研究 木質系材料の場合の接合方法の検討

下村 太郎 負圧二重空気膜構造の構造特性に関する基礎的研究

勝治 寛 木造軸組住宅における接合金物の安全性検証 接合具が及ぼす影響について

城一 祐樹 SENZ 型骨組膜構造の風圧力特性に関する基礎的研究



高岡 孝次	ガラスチューブを弦材として用いたトラス構造の提案と基本構造特性の把握
田中美菜子	HP 形状 2 方向ラチスシェルのテンション補剛に関する実験的研究
中村 和正	リングを用いた切頂 20 面体に関する基礎的研究 崩壊性状の実験的把握
畑野 遼	ガラスプリズムを用いたガラスビームの屋根架構への提案と基本的構造特性の検証
平野 哲也	ガラスを用いた集積構造の屋根架構への適用性に関する研究
柳瀬 仁志	ヘリカル・シザーズ構造の提案と実用性の検討 プリベンディング材を螺旋配置したシザーズ式アーチ構造について
川島 唯	プリベンディング部材を用いたハイブリッド張力膜構造の提案
小林 聡	張弦シザーズ構造によるドーム形状への適用に関する基礎的研究
篠崎 茉美	膜を使用したテンセグリティの仮設建築物の提案



白井伸明教授・田嶋和樹助教・石鍋雄一郎助手

井草 靖晃	損傷スペクトルを用いた RC 造建物の損傷評価手法 既存不適格建物に対する損傷手法の構築
石橋あゆみ	全体曲げ破壊する補強後 RC 骨組の梁要素解析モデルの構築および補強位置の検討
岩瀬 忠敏	耐力偏心を有する単層 RC 構造物の弾塑性ねじれ挙動の評価 (その 1) 解析モデルの構築及び静的解析結果
横川 匠	耐力偏心を有する単層 RC 構造物の弾塑性ねじれ挙動の評価 (その 2) 動的荷重下のねじれ挙動と BST 面による評価
宇賀 神駿	ブレース座屈を伴う RC 骨組の FEM 解析モデルの構築
長田 圭司	溶接軽量 H 型鋼梁のスリーブ管による貫通孔補強効果の解析的研究
岸野 高明	南極大陸ドームふじ観測基地の吹きだまり対策に関する実験的研究
小林 謙太	単層 S 造体育館を対象とした Is 値と地震応答特性 (その 1) 研究背景及び解析概要
田中 仁樹	単層 S 造体育館を対象とした Is 値と地震応答特性 (その 2) 解析結果
田邊 哲也	地震観測点近傍における東北地方太平洋沖地震の建物被害調査
山口 温子	靱性柱と脆性柱が混在する RC 造骨組の耐震性能に関する検討 (その 1) プッシュオーバー解析に基づく検討
荒井未菜美	靱性柱と脆性柱が混在する RC 造骨組の耐震性能に関する検討 (その 2) 地震応答解析に基づく検討
山根 康孝	極めて小さいシアスパンにおいてパンチングシア破壊する補強後 RC 骨組の FEM 解析
渡邊 大祐	線形破壊力学の応用による鋼材の靱性評価に関する研究
渡部 俊宗	3次元 FEM およびファイバー解析を用いた既存 RC 造建物の耐震性能の検証 (その 1) プッシュオーバー解析による水平耐力の検討
片岡 美穂	3次元 FEM およびファイバー解析を用いた既存 RC 造建物の耐震性能の検証 (その 2) 非構造壁の有無が地震応答に及ぼす影響
古川 正憲	既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震性能に関する研究 低強度コンクリートに関する研究



中田善久教授

芦川 雄郁	大規模地震による鋼製下地材を用いた在来工法天井の被害状況に関するアンケート調査
大辻 浩輔	コンクリート強度管理用供試体の違いが応力-ひずみ曲線に及ぼす影響
宮田 敦典	細骨材の表面水率の変動が高強度コンクリートの品質に及ぼす影響
秋山 良	吸水性状と調合分析に基づくコンクリート品質評価に関する研究
手島 基	植物繊維の左官モルタル補強材への利用に関する研究

古橋 剛教授・秦 一平助教

〈古橋ゼミ〉	
土田 亮章	偏心を有した構造物に対する D.M. を用いた応答制御手法の確立 その 1 1 層モデルにおけるねじれ応答の制御
弓削 貴史	偏心を有した構造物に対する D.M. を用いた応答制御手法の確立 その 2 多層モデルにおけるねじれ応答の制御
玉木 龍	制震構造物のエネルギー特性 その 1 時刻歴における減衰エネルギーの分離



藤田雄一郎	制震構造物のエネルギー特性 その2 エネルギーのモード分離法の提案
笠原 俊	高層建物の設計用長周期地震動について 2011.3.11 東北地方太平洋沖地震の観測記録による検討
登坂遼太郎	擬似モード制御システムにおける D.M. 量に対する性能把握 部分モード制御システムの提案
〈秦ゼミ〉	
阿部 裕一	大地震時における駿河台キャンパスの避難に関する研究 その1 東北地方太平洋沖地震による駿河台キャンパスの避難対応の検証と考察
加瀬真一郎	大地震時における駿河台キャンパスの避難に関する研究 その2 アンケート調査による安否確認システムの提案
石田 安澄	超高層免震建物の簡易設計法に関する基礎的研究 免震部材の引抜面圧を基準とした逆設計法
武田 哲平	東北地方太平洋沖地震によるつり天井の耐震性の検証と改修方法に関する研究 その1 1号館つり天井の被害状況及び実大振動実験
稲毛康二郎	東北地方太平洋沖地震によるつり天井の耐震性の検証と改修方法に関する研究 その2 粘弾性ゴムを用いたダンパーによる制震改修方法の検討
木村 武浩	制震装置を集中配置した制震構造物の応答性能に関する基礎的研究 その1 柔層化層に用いる弾塑性ダンパーと D.M. モード制御システムの組合せ検討
安松 哲生	制震装置を集中配置した制震構造物の応答性能に関する基礎的研究 その2 提案システムの解析検討と性能確認実験結果
齋藤 善張	非線形粘性ダンパーの初期減衰係数が応答に及ぼす影響について

今村雅樹教授

〈卒業設計〉

伊藤 舞	地の塔 北海道立図書館の設
岩田 大輝	都市景観の隙間
大堀 裕太	旧住空間再生 公団団地再生計画
栗田 健佑	隅田川の上で、浅草地域における諸問題の設計的解決方法
斎藤 大亮	SEVEN's Canvas 都内における公共建築のあり方
中西 祐介	アクティブな壁、クローズな壁 壁から生まれる新たな学校コミュニティー
野田 香織	HIGATA concealer 谷津干潟における新しい観察スペースの提案
芳我まり子	みんなの ONSEN 横浜市泉区いちょう団地における多分化共生地域センター計画
町田 昂弘	明滅都市 再開発の縁における街の境界のつくりかた
山本 匡希	混在都市連続体 都市と個人の間接項を目指して
和田 修平	渋谷駅周り開発における職住近接空間の集合体の提案



横河 健教授

〈卒業設計〉

蔵藤 勲	水辺のタペストリー 川を編み込んだ堤防建築
平野 淳也	市場開放 市場を拠点とした生活のコミュニティ化
孫 君如	青煉瓦の家 中国古都において住宅の保存と修復
武久 忠正	商品化住宅の解体と再構成 ライフサイクル・ライフスタイルに対応する組み替え可能な集合住宅
谷田 一平	PURE DOM-INO 銀座純折衷主義的商業建築
千綿 悠介	借り暮らしノ大家族 城下町都市佐賀のクリークを活用した職住の暮らしの再生
中山 将	PLATFORM
原 俊介	吾妻ターミナルブリッジ 吾妻橋における橋の観光化の提案
平野 悠哉	Othello 表裏の建築
梅林 稔弘	Cloud Rack 760



山崎誠子助教

市川 恵里	動物園におけるランドスケープイマージョンの現状と一考察
-------	-----------------------------



よこはま動物園ズーラシアにおけるケーススタディ

- 伊藤 由華 東京都・神奈川県・千葉県における推奨木に関する研究 都市の緑化への主要3都市の動き
大川 朱音 史跡名勝の公園化に関する研究
熊倉 拓 神田地区における街路景観の分析と評価に関する研究
清水稚奏子 港区の区立公園についての研究 都市公園法改正による公園計画の変化と現状
直嶋恵里沙 さいたま市浦和区の緑被率に関する研究
夏目 涼 医療建築におけるランドスケープの研究
宮沢 綾 港区における壁面緑化の現状の研究
米山 祐子 千葉県館山市の景観整備に関する研究 現状と今後の課題
飯岡 千明 微気候の研究 水田に囲まれた農家の環境
古瀬 司 災害復興のためのランドスケープの研究 ソーシャルランドスケープの提案

佐藤光彦教授

〈卒業設計〉

- 石森 祥太 都市型PA 後楽パーキングエリア 交わらない動線の新たな関係性
小笠原 隼 新工業都市
小野 可愛 CHEESE
佐藤 太輝 裏返る住宅地
丹下 幸太 transfiguration
塚越 望 mediate 小金井市庁舎移転計画に伴う複合庁舎の提案
豊田 玲奈 低層住宅□高層ビル 再開発の裏の計画
番屋 陽平 風景のパレード 賑わいが流れる浜町堀
矢野 卓馬 とあるお堀の物語
山本 尚史 21st Century Office : Domino System to Void System
VOIDによる均質空間の変容性を用いたオフィス空間の提案
藤本 陽介 佃島は浮かび上がる 水辺へ繋ぐストライプ



山中新太郎助教

- 小出 恵嗣 まちのオープンスペースにおける「たまり」に関する研究
日本大学理工学部駿河台校舎前及び千代田区道444号線を事例にして
齋藤 武 世紀末ウィーンにおける「装飾」に関する研究 アドルフ・ロースの建築を対象として
- 〈卒業設計〉
- 朝倉 亮 街門 僕達は何かを目指す 駅、或いは
亀井 一帆 軍艦島ミュージアム
杉本 将平 山手線図書館 鉄道の線路軌道が生む空間を利用した建築の提案
本宮 久隆 松山城三之丸史跡球技場計画
矢嶋 宏紀 超高層美術館 新たな東京のアート拠点となる、垂直方向に展開される美術館の提案
山本 成子 Roppongi Terminal
和田 智子 籠—こもり— 自己再構築のための水空間



本杉省三教授

- 青木 駿太 有料多目的レンタルスペースの利用実態に関する研究
天野 容平 美術館を拠点とした教育普及活動に関する調査研究 神奈川県内の美術館を対象として
安濃 一史 住まいにおけるこども室について ハウスメーカーが考える住まいの過去と現在
小野 梓 郊外地域における中心エレメントに関する研究
河合 誠人 子育てを終えた親から考えるこども室について



金原 巧 公共図書館の児童部門における利用実態について 北区立中央図書館を事例として
 田村 想 公共図書館における学習室利用の実態とあり方について 墨田区立あずま図書館を事例として
 横田 祐治 日本大学理工学部駿河台図書館の改善点について学生の視点で考える
 平山 詠梨 分譲団地のリフォーム実態調査からみた建替え・修繕・改修に関する調査研究
 成田ニュータウン分譲住宅団地アンケート調査から

〈卒業設計〉

柳 皓成 connecting scene 防火建築帯建替におけるヴォリューム分散配置型複合施設の提案
 山崎 周拓 オモヤとハナレとコリドール

佐藤慎也准教授



籠 景美 公立美術館の設立趣旨に関する研究
 大橋 麻紀 もの派の研究 環境の意識に着目して
 島田 遥 現代美術館の展示空間構成に関する研究
 鈴木 薫 映画編集に関する研究 空間と時間による視覚的表現に着目して
 塔尾 洋一 情報化社会における哲学と倫理 現代の建築論の模索
 長尾 芽生 アートボランティアに関する研究 アートプロジェクトにおける活動を中心として
 福田 朱根 現代におけるコミュニティデザインに関する研究 studio-Lの活動を通して
 堀木 彩乃 商業施設におけるイベントスペースに関する研究
 堀切梨奈子 まちなかにおける芸術活動に関する研究 場の利用と参加態度を通して

八藤後 猛准教授



伊東 清音 子どもの危険回避能力と生活体験に関する研究 建築安全計画のための基礎的研究
 伊藤 理紗 温泉施設の快適性について
 大沼奈津美 子連れ外食における飲食店の利用しやすさに関する研究
 川上 玲奈・蓮澤美沙希 節電時における駅の計画 視覚障害者のためのバリアフリー
 坂田 直輝 ドアの指はさみ事故防止に関する研究
 渋谷 鎌磨 男女が働きやすい保育所職員空間に関する研究 男性保育士の増加に適応する保育所
 清水 信貴 住宅における子ども用階段手すりの基準に関する研究
 堤 真吾 新宿駅における乗換と周辺地域への移動を円滑化するためのルートマップ作成に関する研究
 手塚 啓介 色彩計画に配慮した戸建て住宅の提案 視覚障害者の視点から
 具志堅いづみ 公共の歩行者空間の安全に関する研究 視覚障害者、知的障害者の外出支援のあり方
 能勢 摩耶 精神障害者グループホーム居住者の住宅性能に対する意識調査 川崎市内におけるグループホームを対象として

渡辺富雄准教授



荒木 千陽 茨城県の高齢者専用賃貸住宅の実態調査と県営ひばりアパートの改修計画の提案
 大島 由貴 外遊びにおける異年齢交流の発生場所と遊び行為の関係性に関する研究
 横浜市の認定こども園を事例として
 奥村 健 廃校に伴う中学校校舎の用途転用に関する研究 東京都区部の公立中学校9事例を通して
 河合 雅由 コレクティブハウジングの基礎的研究 NPO コレクティブハウジング社の事例を通して
 坂本亜沙未 図書館スタッフから見た事務系諸室の空間構成の評価に関する研究
 区立千代田図書館、区立葛飾中央図書館、武蔵野プレイスをを通して
 佐々木彩香 こどもの遊び行為と空間に関する研究 異なる遊び空間での観察調査からみた考察
 駿藤 伊織 盲導犬訓練施設の機能と計画に関する研究 日本国内の12施設の事例調査研究を通して
 中山 満 図書館利用者の属性と行為からみた場所選択に関する研究
 武蔵野プレイス、葛飾中央図書館、千代田図書館を事例として
 波多野真一 小規模多機能居宅介護施設の利用者特性と利用圏に関する研究 東京都練馬区の事業所を事例として

三壁 祐哉 施設一体型小中一貫校における学年配置と教室ユニットの平面構成
学校建築の雑誌「School Amenity」過去5年分に掲載された事例を通して

〈卒業設計〉

中田 光 COMM:RIPPLES 郊外での公共空間を備えた図書館の設計
原 祐典 台東区役所の設計 庁舎建築の在り方について考える

宇杉和夫准教授

井町 順文 東北地方における津波に対する神社の避難場所の機能の分析 宮古市の海岸付近の神社を事例として
清水 遼 東日本大震災から見る持続的地域コミュニティについての研究
宮古市における仮居住形式の変遷の把握
田島 雄一 震災復興仮居住におけるコミュニティの役割 双葉町借上げ住宅を事例として
平岡 昭 岩手県宮古市の地域固有の資産を活かした復興まちづくりの提案
三陸海岸における観光拠点としての鯉ヶ崎の位置付け
平野 祐樹 見沼たんぼの市民農園の実態と地域農産業活性化についての研究 実態調査を中心として
安永 直哉 見沼たんぼの市民農園の実態と地域農産業活性化についての研究 意向調査から見る見沼たんぼ
遠藤 洋平 ヤマ路地ムラ路地再生による復興計画支援 岩手県宮古市を例にした路地空間の再編



大川三雄教授・重枝 豊教授・小島陽子助手

〈大川研究室〉

安樂 駿作 建築家・葛西萬司の建築観と設計活動にみる特徴
里井 レミ 『暮らしの手帖』(1948-1969)にみる住宅関連記事の変遷と特徴に関する研究 建築界の動向との比較
篠原 通宏 佐野利器の復興建築論にみる「共同建築」の理念とその実践に関する研究
復興建築助成株式会社を活動を中心として
友田 雄俊 建築家 佐藤功一の住宅観とその変遷に関する研究 著作と論稿を通じた史的分析
間瀬 朋美 インフラ整備の変遷にみるバロック都市ローマの形成過程に関する考察
川崎 圭祐 建築家・C.F.A. ヴォイジエの住宅作品にみる伝統表現の推移 伝統性に依拠した設計思想を通して
武知 俊貴 ロシアアヴァンギャルドにおけるヤコフ・チェルニホフの著書の特徴と意義に関する考察

〈重枝研究室〉

加藤 千晶 長谷寺本堂建地割図を用いた本堂計画意図の解明に関する研究
江戸時代初期再建社寺建築の計画手法に関する一考察
服部 知彰 密教建築にみる多宝塔の平面構成の特徴に関する一考察 上・下重平面や各部寸法の類別を中心として
丸山 麻美 導入期と完成期における禅宗様建築の細部寸法決定手法に関する一考察
方3間裳階付き仏殿の柱間寸法を中心とした寸法構成について
菱谷美菜子 大仏様意匠を用いた建築の平面・断面における寸法構成に関する一考察
大仏様の空間構成が後世の建築に与えた影響について
富田進太郎 諏訪大社上社本宮の伽藍変遷に関する一考察 江戸再興期を中心とした社殿の変遷について



三橋博巳教授

岡安 俊樹 大型商業施設の出店と商店街への影響 加須市商店街について
尾崎 俊介 木造住宅密集地域の避難に関する研究 東京都大田区を対象として
小野 拓実 自転車利用促進における道路整備に関する研究 神奈川県茅ヶ崎市駅前を事例として
加藤 大吾 重要伝統的建造物群保存地区における建築意匠の形成過程 埼玉県川越市川越一番街を対象として
今野 僚 地方自治体施設の公共FMの導入に関する研究 東京都の事例について
名越 優貴・横上 昌宏 東京都23区の賃貸マンションにおける価格の研究 山手線沿線について
森 春樹 伊豆市のウェルネス事業と活性化に関する研究 TO-JIプログラムについて
陸田 真菜 土壌汚染地の土地利用に関する研究 工場跡地を事例として



- 井上 裕也 公共施設のバリアフリー化の実態に関する研究 千葉県公立高等学校と駅を対象として
播磨 秀幸 英国の中古住宅流通に関する研究 日本と英国の比較
市原 恵太 首都直下型地震における防災対策に関する研究 東京都を対象にして

根上彰生教授

- 小野寺 匠・後藤 俊・田村 太一
優先的に沿道建築物耐震化を促進すべき避難経路の選定に関する研究
加藤 優基・桜井 澄・楠木 堅曹
駅前空間の機能分析と総合評価に関する研究



宇於崎勝也准教授

- 秋田 容子・舟木真奈花
鉄道高架下空間の利用と建物用途に関する研究 高架下における空間構成要素に着目して
安喰 大智・角舘 義一
坂道空間の要素分析とその評価に関する研究 坂道空間の見上げ景観と見下ろし景観の違い
今泉 裕貴・小山田佳史・桂林 太一
東京近郊の駅前商店街の実態に関する研究 市川駅、本八幡駅周辺を事例として
海野 友弘・小幡 卓史・飛田 裕也
一体型土地区画整理事業による市街地の形成に関する研究 つくばエクスプレス沿線を事例に
岡田 安弘・富樫 尚仁
自転車通行環境整備モデル地区の整備実態に関する研究 関東地方21地区を対象として



川島和彦専任講師

- 岡長 周平・幸田 崇
東京都における既存建物を活用した有料老人ホームの供給に関する研究
その1. 既存建物を活用した有料老人ホームの実態
その2. 有料老人ホーム設置運営指導指針の改定の提案
下山 亮・連石 雄大
金沢市における伝統的産業の担い手による歴史的建造物の活用に向けた取り組みの実態に関する研究
その1. 担い手育成および歴史的建造物の活用の取り組みとその実績
その2. 担い手による活用経緯および活用における課題の分析
鈴木 貴博・早瀬 悠真・水野 秀亮
地方都市における高齢者向け公営住宅を拠点とした地域活動の活性化に関する研究
その1. 先進事例5施設における取り組みの実態
その2. 熊本県宮健軍団地を対象とした拠点整備および団地内高齢者の参加実態
その3. 周辺地域にサブ拠点を展開することによる効果の分析
高橋 祥太
「産業観光」の連携体制における中核的推進組織の役割に関する研究
群馬県桐生市における産業遺産にかかわる組織間の関係に着目して
山中 沙智
広域連携による歴史的建造物の活用の展開に関する研究 神奈川県相模湾沿岸地域を対象として
岡部 佳代
台北市饒河街観光夜市の整備の変遷と利用実態に関する研究 屋台・騎樓・店舗の関係に着目して
米山 隆晃
地方都市におけるまちなか居住推進のための空き家情報提供制度に関する研究
まちなか居住を目指した関連する取り組みとの関係に着目して



横内憲久教授

- 浅賀 真治
減築を用いた商店街活性化のための整備手法に関する研究
商業施設「wazawaza」にみる減築の有用点
大久保慎之介・中藤 元希
水上交通を核とした広域的な地域活性化に関する研究
(その1) 新町地区における遊覧船に着目して
(その2) 地域間をつなぐ水上交通の有用性について



- 大村 倫平 都市における水域の不動産的価値に関する研究 水域の土地の利用における評価項目について
- 河口 怜史 コンパクトシティ政策促進の方策に関する研究 自治体から捉えたコンパクトシティ政策の課題
- 河野 琢磨 港湾機能再編における「みなとまちづくり」に関する研究 静岡県清水港日の出地区における地域資源の抽出
- 佐波 敏英 都心型漁業を核としたまちづくりの提案 社会実験からみる大田区「漁業」の位置づけ
- 前原 裕美 震災復興における「地域の記憶」の継承に関する研究 塩竈湾臨港地域における「地域の記憶」の把握
- 松坂 超 都市における寺社空間の保全に関する研究 切絵図・古地図・現代地図からみる寺社面積の変遷について
- 加藤 智也 景観教育における支援体制の構築に関する研究 「景観まちづくり学習」協働実施校における教育計画に着目して

吉野泰子(短大)教授

- 荒井 秀明 素材にふれて考える住まいの住環境教育に向けた取り組み
模型キットと緑のカーテンによる涼房効果
- 有林 裕輔 住宅・建築物省 CO₂ 先導事業マンションの環境設計 その2. 夜間冷気導入による CO₂ 削減効果の検証
- 篠塚 寛明 重要文化財のバッファゾーン設定に向けた実践的法整備に関する検討
その1. ビルの高さと樹木がビル風に及ぼす影響
- 清水 貴太 住宅・建築物省 CO₂ 先導事業マンションの環境設計 その1. パッシブ手法導入による H.I.P の低減効果
- 樋口 智文 重要文化財のバッファゾーン設定に向けた実践的法整備に関する検討
その2. 韓国文化財保護法の翻訳と具体的法制度への試み



黒木二三夫(短大)教授

- 堀川 史也 テンセグリティによる施設園芸農業架構の提案
- 櫻井 陽子 POV-RAY による膜構造建築のビジュアル化 雪氷構造物の実現に向けて



下村幸男(短大)教授・酒匂教明(短大)専任講師

- 真瀬 貴成 摩擦音を利用したスウェーデン式サウンディング試験に関する研究
その1 フィールド測定に適用可能な試験機の改良
- 新中 義彦 摩擦音を利用したスウェーデン式サウンディング試験に関する研究
その2 フィールド実験の結果
- 大羅 将・奈良 準也 RC 造学校建築の耐震補強前後の常時微動の変動に関する基礎的研究
- 片岡 翔太・倉島 貴昭 摩擦音に着目した土質判定を可能にするスウェーデン式サウンディング試験に関する研究
中間土を対象とした模型地盤による検討及びフィールド実験結果
- 吉沢 逸朗 震災瓦礫を用いた減衰地盤材料による嵩上げ造成地盤の動特性に関する基礎的研究



小石川正男(短大)教授・田所辰之助(短大)准教授・矢代眞己(短大)准教授

〈卒業設計〉

- 鎌田 暢 月島リボン つきしまのかこ・いま・みらいを紡ぐ7つの結び目



平成23年度 短期大学部 卒業生一覧

芦達 記英	桐生この夢	角川 将基	藤田 康平
阿部 紘樹	隈部 真司	椿 礼	宮田あゆみ
安西沙保里	小林 周平	富田 赳成	武川 将之
池田 知史	小林 幸弘	中込 慎也	森下 雄亮
伊佐康太郎	櫻井 晃平	中澤 拓海	矢代麻佑子
伊藤 彦太	澤頭 俊平	中島 伊織	山内 玲美
伊藤 壮祐	島野 嵩史	鳴田 健志	山田 航平
伊藤智香子	清水 悠生	難波 豪生	山本 健太
岩本 桃果	鈴木 健明	西 愛里子	若櫻 茄菜
江原 一晃	高安 結子	二峰万理江	若杉 健太
岡本 恭明	田久保 匡	仁平 広志	庄司 綾
鹿志村麻紀	田島 麻衣	蓮澤紳之介	清水 葉月
金井 美保	田中 陽平	羽鳥 愛美	長谷川良太
金子 顕	谷村安歌理	原島 和	藁科文美繪
金坂 裕之	土屋慧利子	平岡 恵利	

駿建目次	2011送る言葉	2	平成23年度 卒業研究・設計 タイトル一覧	11
2012年3月号 Vol.39 No.5 通巻167号	平成23年度 各賞受賞者一覧	6	平成23年度 短期大学部 卒業生一覧	20
表紙「駿河台校舎5号館」	平成23年度			
設計：宮川英二	博士論文 修士論文・設計 タイトル一覧	8		
撮影：佐藤慎也				